

浅間台

松戸市立第二中学校

令和4年度 1月号

〈 「今年の漢字」に思う 〉

校長 佐野 公雄

毎年恒例の「今年の漢字」が、12月12日の「漢字の日」に発表され、清水寺の森清範貫主が書き記した文字は『戦』でした。これを見て私が一番に頭に浮かんだのは、ウクライナに住む人々です。突如として日常生活が奪われ、今も恐怖に怯える日々を過ごしていると思うと胸が痛みます。そのなかには小さな子どもたちもたくさんいます。年端もいかない子どもたちが銃撃や砲撃で命を落とすようなことは、決してあってはならないはずですが、そんな明日をも知れない生活が、あと2ヶ月余りで1年も続いてしまいます。自分の家族や身の回りの人が、そんな事態に巻き込まれてしまったらと思うと心が休まりません。一日でも早い終息を願うばかりです。

クリスマスの時期に戦争の悲惨さを感じると、ちょうど1年前の「浅間台」でも触れた『ジョニーは戦場へ行った』という反戦映画を思い出します。クリスマスと言えば、家族で楽しめる『ホームアローン』や『34丁目の奇跡』『ダイハード』といった映画がお勧めですが、今この世界で起こっていることに目を向けて考えるのに、参考になる映画だと思えます。実は私も、中学1年の時の担任の先生に紹介されて観たのですが、その時の衝撃を今も鮮明に憶えています。反戦・安楽死など、命の尊厳に触れるかなりハードな内容で、観ていて辛くなる場面も少なくありませんが、いま同じ地球上で辛く悲しい思いをして過ごしている人々がいることを感じながら観ると、平穏な日々の危うさや平和の尊さを考える機会になると思えます。この映画の原作・脚本・監督のダルトン・トランボは、秀逸な作品を手掛ける脚本家で、ハリウッド映画に欠かせない存在でしたが、1947年に始まった「赤狩り」と呼ばれる共産主義弾圧運動に遭い、いわれのない罪状で刑務所の送られ、映画界から追放されてしまった人です。この「赤狩り」は、資本家の人々を中心に広まった社会的・政治的運動で、上院議員のジョゼフ・マッカーシーが強硬に行ったことから、「マッカーシズム」とも呼ばれ、「共産主義的な考えは国を亡ぼす元凶になる。」として、言論の自由・平等・反戦などを訴える人々を、何の証拠もなく弾圧したものです。しかし、ハリウッドを追放されたトランボは、その後も映画に携わることをあきらめず、本名を隠し偽名で多くの脚本を書き続けました。その中に、オードリー・ヘップバーンがアカデミー主演女優賞を獲得した映画『ローマの休日』があります。この作品で、トランボはアカデミー原案賞を受賞しますが、ハリウッドを追放されている彼は、友人の名を使っていたので授賞式に参加できず、その友人がいよいよオスカー像を受けとったというエピソードも残っています。その後、勇気を持って「赤狩り」に異を唱えたジャーナリスト、エドワード・R・マローらの活動によって弾圧運動は沈静化し、トランボはハリウッド映画界に復活して多くの名作を残していきました。この「赤狩り」を描いた映画『グッドナイト&グッドラック』（監督：ジョージ・クルーニー）も見ごたえのある佳作です。



2022 今年の漢字(出典:中日スポーツオンライン)

明日から、冬休みが始まります。冬休みにはクリスマスや正月があり、家族と過ごす時間が多くなったり、田舎へ帰省したり、親戚が集まったりする機会も増えるかもしれません。感染対策をしながらも、そうした家族団らんの時間を大切に過ごしてください。私たちはコロナ禍に遭って、当たり前の日常生活が、突然奪われることがあると実感しました。私も家族の大切さを感じながら、無事に1年を終え、新しい年を迎えられることに感謝し、一日も早く世界中の人々が平和に暮らせる日が訪れることを祈りたいと思います。

二中学生の歳時記

●学期末の授業風景

学期末のテストも終わりましたが、どの学年も授業に向かう姿勢が素晴らしいです。1人1台のタブレットも活用し、仲間と協働しながら継続的に学習に臨んでいます。授業の内容を確実に理解し、冬休みを迎えたいものです。



●部活動の様子



●職業人講話

11月30日(水)に1年生の授業で「職業人講話」がありました。第一線で活躍されている方々と接する学習活動を通して自己の理解を深め、望ましい勤労観や職業観を身に付けることができました。



1月の主な予定

日	曜	行事
10	火	始業式
11	水	到達度テスト(全学年)
13	金	新入生保護者説明会
16	月	千教研 給食なし
19	木	全校委員会
20	金	松戸市中学校新人駅伝大会
26	木	職員研修(研究授業)
30	月	進路検討会②

冬季休業 12/24(土)~1/9(月)

※事件・事故は110番、学校(平日 8:10~16:40)へご連絡ください。

※12月28日(水)~1月3日(火)は、学校閉庁日となり、日直の先生は、いません。緊急の場合は、070-2483-8583までお願いします。

松戸市からのお知らせ

松戸市には、生きづらさを感じている方のための相談窓口があります。ひとりで抱え込まずに相談しやすい方法で、お気軽にご相談ください。

生きる支援相談窓口(松戸市健康推進課)

☎047-703-9293

月曜から金曜 8時30分~17時

(祝日・年末年始を除く)

「セクハラ相談窓口」について

本校には「セクハラ相談窓口」を開設しています。いじめやセクシュアル・ハラスメント等、嫌な思いをしたり困っていることがあったりしたら、いつでも相談してください。

※担当:坂口教頭、祖母井教諭(1年)、鷲谷教諭(2年)、矢野教諭(3年)、大村養護教諭